

三重県スポーツ少年団第5回研修会

日時：平成19年8月26日 13時～17時

場所：鈴鹿青少年センター

出席者：杉本直美、佐藤由佳、内田理絵子、平子良枝、平子雄喜、内田愛子、西村拓馬、加藤誠也、森下先生

< 議事 >

全国スポーツ少年団体の報告（良枝）

- ・熊本県で3泊4日で開催。参加者326人。熊本リーダー13人。その他ボランティアスタッフ多数参加。38班構成。
- ・時間変更などの連絡が行き届いていない部分もあったが、リーダーの指示で動けた。
- ・県内のリーダーだけでは手がたりないと見越して、他県やその地域の大学生に呼びかけ、人員確保をした。
- ・シップス活動（運動会みたいなもの）をした。シップスリレー（県対抗リレー）などの企画もあったが、熱中症の恐れがあり断念。シップス活動では京都が優勝した。
- ・新聞を作るなど広報活動もしっかりしていた。カラーならもっとよかった。
- ・三味線部の中学生を呼んで夏祭りをして、盆踊りをした。

鈴鹿市スポーツ少年大会（石倉）

- ・参加者200人程度。
- ・スポーツテストの運営補助 スポーツテストの準備、準備体操の指揮、見本など。
- ・スポーツテストの集計を待っている間にレクを。
拍手、落ちた落ちた、世界征服、人生ゲーム、だるまさん、サザエさん、関所破りを予定していたが思ったより時間がなく、拍手、落ちた落ちた、世界征服、人生ゲーム、再び拍手だけをした。最初2時間の予定が1時間に当日変更になった。
- ・乗ってきてくれる子は前の方に来て楽しんでくれたが、それ以外の子は後ろで独自に遊んでいたり走り回ったりしていた。
- ・少年団で固まってしまうためリーダーが参加者を引き込む力を養う。
- ・何のためのゲーム？全員参加型？待ち時間を楽しませるだけのゲーム？
- ・鈴鹿市の目的は？どうしてほしいの？要請の内容に変更があった（日時、時間帯、内容）
- ・要請が来ているのは良いこと。アピールの場になっている。
- ・市町村に不満をいうのではなく、リーダーとしてどういう風に取り組みればひきつけられるのかをしっかりと学ぶことも大切。
- ・指導者の指導力が不足している。
- ・リーダーとしてのけじめをしっかりとつける。団員とリーダーは別。
- ・メリハリをつけて、言わなければいけないところではしっかりと言う。

ジュニアリーダー研修会について

日時：平成 19 年 10 月 21 日 9:30~16:00

場所：鈴鹿青少年センター 第 3 , 4 研修室

参加予定者：杉本直美、佐藤由佳、西村拓馬、石倉巨、内田理絵子

不明者：加藤誠也

予定内容

9:30~ 受付

10:00~ 開会式 本部長挨拶、会長挨拶、緑の朝風

10:15~ オリエンテーション リーダー紹介、日程説明、諸注意

10:30~ 自己紹介を含めたレクリエーション

ドイツ旅行

自己紹介を入れる。

歌詞：ドイツの町へいこうよ×2 パスポートだって持ってるし、地図だって持ってるしドイツの町へいこうよ。

人数がまとまったら、リーダーが自己紹介のお題を言って自己紹介を開始する。

目玉焼き

人数の把握しレクの前に白身の数を決める

震源地

グループ二つ

お地蔵さん大福どうぞ

円を二つにして鬼は一人

友情の輪

12:00~ 昼食

13:00~ ドイツについて「クイズ！！ドイツと日本を比べよう！」

ジュニアリー研の目的は、スポ少とドイツの関係を知ってもらう。

クイズは、パワーポイントを使い、それにちなんだ問題を出題する。

パワーポイントに使う写真の枚数は、約 50 枚

パワーポイントにちなんだ問題は、9 月 9 日に決定する。

解答用紙は、団員一人一人に渡す。

答え合わせは最後にする。

問題用紙は、スケッチブックを購入して使用する。

15:30~ 閉会式

16:00~ 解散

- ・ テーマ「ドイツへの扉を開こう！」
- ・ 参加者は、4班程度に分ける
- ・ ドイツに行くことがリーダーの目的ではないということを再確認する
- ・ ドイツに行った人が中心になって進めていくのではなくて、行ってない人が中心になって質問を考えてほしい
- ・ レクの内容...こっち指せ、ジャータン、
- ・

謝金、交通費

志摩市 交通費としていただいたため個人に渡す。

四日市市 交通費、謝金としていただいたため、交通費は個人に。謝金は回収して四日市兼三重県リーダーに渡す。残りは研修会などのおやつ経費に。